

長岡工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	都市計画 B
科目基礎情報				
科目番号	0077	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	佐々木晶二／著, 都市計画のキホン, ぎょうせい, 2017			
担当教員	陽田 修,松川 寿也			
到達目標				
(科目コード: 56966, 英語名: Planning B) (授業計画の週は回と読替えること) この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。 この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下に示す。①地域及び国土計画の概要を理解する。(20%) (d1) ②土地利用計画を制限と事業の面から理解する。(40%) (d1) ③都市施設、市街地整備や都市環境について理解する。(40%) (d1)				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	我が国の国土計画の体系とその変遷を詳細に理解する	我が国の国土計画の体系とその変遷を理解する	我が国の国土計画の体系とその変遷を概ね理解する	左記に達していない
評価項目2	持続可能な都市計画のあり方を詳細に理解する	持続可能な都市計画のあり方を理解する	持続可能な都市計画のあり方を概ね理解する	左記に達していない
評価項目3	持続可能な都市計画を実現する土地利用計画、土地利用規制制度について詳細に理解する	持続可能な都市計画を実現する土地利用計画、土地利用規制制度について理解する	持続可能な都市計画を実現する土地利用計画、土地利用規制制度について概ね理解する	左記に達していない
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	我が国の国土計画の体系とその変遷に加えて、持続可能な都市計画のあり方とそれを実現する土地利用計画、土地利用規制制度について述べる。			
授業の進め方・方法	プロジェクター等を利用した授業を行う。毎回の授業中にミニレポートを記入して提出する。			
注意点	自分の生活している都市及び地域環境を踏まえて理解を深めること。			
授業の属性・履修上の区分				
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	イントロダクション (日本の都市の変遷と都市計画制度論)	左記の内容を理解する
		2週	国土計画 (全国総合開発計画と国土形成計画/国土利用計画)	左記の内容を理解する
		3週	大都市と地方都市 (政令指定都市、中核市、特例市、大都市圏)	左記の内容を理解する
		4週	持続可能な都市計画その1 (都市の密度/サステナブル・デベロップメント/TOD)	左記の内容を理解する
		5週	持続可能な都市計画その2 (まちづくり三法/コンパクトシティ政策/立地適正化計画制度)	左記の内容を理解する
		6週	土地利用計画制度の基本その1 (都市計画区域/区域区分制度)	左記の内容を理解する
		7週	土地利用計画制度の基本その2 (マスタープランからの展開/空間計画としてのSD/成長管理)	左記の内容を理解する
		8週	中間試験 都市郊外の土地利用規制制度概論	試験時間: 50分 左記の内容を理解する
	4thQ	9週	土地利用規制制度の変遷その1 (2000年法改正/特定用途制限地域)	左記の内容を理解する
		10週	土地利用規制制度の変遷その2 ゾーニングの変遷(市街地像・環境を実現する手段/地域地区/特別用途地区)	左記の内容を理解する
		11週	地区レベルの規制制度 (地区計画制度/建築協定/まちづくり協定)	左記の内容を理解する
		12週	開発許可制度その1 (市街化調整区域/開発行為と建築行為/技術基準と立地基準)	左記の内容を理解する
		13週	開発許可制度その2 (開発許可条例とその問題点)	左記の内容を理解する
		14週	農山村地域の規制制度 (国土利用計画/農業振興地域/自然公園地域)	左記の内容を理解する
		15週	講義全体の総括 期末試験	左記の内容を理解する 試験時間: 50分
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。	4		
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。	4		
				緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4		
				土地区画整理事業を説明できる。	4		
				市街地開発・再開発事業を説明できる。	4		
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	50	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0